

行財政改革への集中的取り組み

今号では、令和8年度の施政方針や主要事業などを紹介します。



和8年度の当初予算編成にあつては、「第2次にかほ市総合発展計画（後期基本計画R4～8）」、「にかほ市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の主要施策および「市長の3期目公約（6分野24項目）」に取り組みために予算を配分し、総額を151億2千万円と決めました。

本市の財政については、総じて健全な範囲で推移してきましたが、経常収支比率が令和元年度決算の88・5%から令和6年度決算では94・5%と悪化している、最大の要因

である物価高騰や人件費の上昇傾向が続くなかで、財政の硬直化はさらに進行することが予想されています。

こうした状況を打破するため、公共施設の再編などを本丸として令和8年度から3年間を「行財政改革集中期間」と位置づけました。そして、第5次行財政改革大綱に掲げる事項を強化・加速化させていくとともに、「公共施設の最適化」、「事務事業の見直し」、「歳入基盤の強化」、「行政の生産性向上」の4つを重点的取組事項として注力していきます。

快適に くらする まち

秋田県総合防災訓練が9月6日に本市を会場に開催される予定です。当日は警察や自衛隊、災害派遣医療チーム（DMAT）など多くの関係機関が参加し、組織間連携を一層強化する実践的な訓練となります。自主防災組織や市民の皆さまにも参加いただき、防災意識と地域防災力の強化につなげていきます。

若者に 魅力ある まち

各年代に応じた職場見学や企業説明会等を開催し、学生や保護者、教員等が地元企業の魅力に触れる機会の充実に取り組みます。また、就職後3年以内の若者を対象に、コミュニケーションスキルやモチベーションの向上、異業種交流につながるセミナーを開催し、若者の地元定着の促進を図っていきます。

人と 文化が 豊かな まち

市民の誰もがスポーツに親しみ、楽しみ、集い、スポーツを通じてつながる機会の創出に努めます。NPO法人BSスポーツクラブにかほ市スポーツ協会、スポーツ推進委員と連携し、「スポレク祭」等の体験型イベントや体験教室のほか、自治会等の要望に応じた出前講座などに取り組みます。

主な施策

7つの基本方針

第2次にかほ市総合発展計画の基本計画に掲げる7項目

子育て しやすい まち

令和8年度から全国全ての自治体で実施される「乳児等通園支援事業」について、保育施設等と協議しながら、条例の設置や運営体制の確認を行い事業構築の準備を進めます。また、延長保育や一時預かり保育、休日保育等を継続し、子育て家庭のニーズに応じた保育サービスの提供を支援していきます。

高齢者が 元気な まち

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を維持できるよう、地域包括支援センターの体制を強化し、加齢に伴う心身機能の低下防止や重症化を防止する取り組みを進めます。また、認知症の早期対応に向けた支援や支え合い体制の構築など、地域包括ケアシステムの推進を図ります。

稼ぐ力が 強い まち

地域農業を支える担い手や新規就農者の育成・確保に取り組むとともに、集落営農の法人化や新規法人の設立を支援し、地域の農業が維持できるよう農地の受け手の育成を進めます。あわせて、稲作と高収益作物の複合化に必要な機械・設備の導入支援を継続し、持続的な地域農業につなげていきます。

市民と行政が 協働で つながる まち

令和7年度に全自治会を対象に実施した集落点検の結果に基づき、集落ごとの人口の変遷や将来人口の推計などの分析を進めていきます。その結果を市全体や旧小学校単位で共有し、集落との議論を重ねながら地域課題への意識を深め、コミュニティ再構築に向けた機運の醸成に取り組めます。

教育行政の基本方針

にかほ市教育委員会では、これまで「超にかほ一体」を合言葉に各地域の持っている教育資源を市全体で共有し、ふるさとを愛し、にかほ市を豊かにする人間の育成に取り組んできました。令和8年度は、これに加えて「生涯にわたって学習し続ける市民にとっての適正な環境整備と教育内容の提供」を念頭に入れ取り組んでいきます。

学校教育においては、小学校における基礎学力向上の仕組みづくりを研究していきます。これまで各校では、校長先生をはじめとする教職員の取り組みによって基礎学力向上は一定の成果を得ています。しかし、個人の理解度や学習法の受容、家庭の協力等により、学力向上に格差が生じるケースもあります。そこで、この点を解決するために教育研究所を中心に対応する仕組み作りを研究します。

また、グローバル化に対応するため、英語教育において大学の協力のもと、新たな学習方法やスキルを導入したり、英語学力向上のために教員等の適正配置を工夫していきます。さらに、これまで実施してきたにかほ市独自の体験学習に加え、3地域で活動する「太鼓の文化」を各小学校に導入し、地域の方々と児童との交流を一層深め、生涯学習と学校教育の連携を進めるとともに、ICT分野においても全国に誇る「にかほ市デジタルアーカイブ」の積極的な活用をさらに推進します。

学校適正化については、令和10年4月の平沢小学校と院内小学校の統合小学校開校に向けた準備委員会、統合中学校の位置に関する選定委員会を開催し、それぞれエビデンスとなる客観的な数値や根拠を提示し、委員の俯瞰的な判断による適正化に向けて計画を進めていきます。

秋田県が抱える共通課題としての少子化による学校再編や高齢化による孤独や孤立、コミュニティの脆弱化等を「超」を意識し、一人ひとりの個性を把握し、長所を伸ばすきめ細かな教育実現のチャンスと捉え、一人ひとりの笑顔を思い浮かべながら、地域に根ざし信頼される教育、未来を拓く教育を進めるために努力していきます。

